

～ 唐津市短観 令和3年下半期調査結果 ～

- 現況は「悪い」（現況DI：▲20）、見通しは「悪くなる」（見通しDI：▲35）
- 新型コロナウイルスの影響が続いており、引き続きすべての業種において見通しが悪い。

■調査概要

調査時期： 令和4年1月
 調査方法： 郵送による回答
 調査内容： 前期と比較した今期（令和3年7～12月）の景況感および
 今期と比較した次期（令和4年1～6月）の見通し
 調査対象： 唐津市内の事業者から抽出した7業種138事業所
 回答数： 115（回答率83.3%）
 分析： 唐津市

■当期の結果概要

現在の景況感は「良い」16.5%に対し、「悪い」が36.5%と上回り、現況DIは▲20ポイントとなりました。業種別に見ても、製造業以外の業種で現況DIがマイナスとなっています。前回調査の現況と比較すると、製造業はプラスに転じており、農業、宿泊業もマイナスとはなっているが、指標は上昇傾向にあります。

6か月後の見通しについては「悪くなる」が40.9%、「変わらない」が53.0%と引き続き景況感は悪い状態が続くもしくはさらに悪くなる見通しとなっております。業種別で見ても、すべての業種において見通しDIがマイナスとなっており、全国的な新型コロナウイルス（オミクロン株）の感染再拡大による影響が大きいと思われます。

	前年調査	前回調査		現在の景況感			現況 DI (%ポイント)	6か月後の見通し			見通し DI (%ポイント)		
	現況 DI	現況 DI	見通し DI	回答数 (n=)	良い (%)	普通 (%)		悪い (%)	回答数 (n=)	良くなる (%)		変わらない (%)	悪くなる (%)
総合	▲16	▲40	▲23	115	16.5	47.0	36.5	▲20	115	6.1	53.0	40.9	▲35
①農業	▲36	▲55	▲64	10	0.0	80.0	20.0	▲20	10	10.0	40.0	50.0	▲40
②建設業	5	▲6	▲11	18	11.1	72.2	16.7	▲6	18	0.0	77.8	22.2	▲22
③製造業	10	▲16	▲3	29	31.0	44.8	24.1	7	29	10.3	69.0	20.7	▲10
④宿泊業	50	▲100	▲22	8	37.5	12.5	50.0	▲13	8	0.0	25.0	75.0	▲75
⑤卸売・小売業	▲48	▲52	▲43	26	3.8	42.3	53.8	▲50	26	7.7	50.0	42.3	▲35
⑥飲食業	▲27	▲64	▲27	13	23.1	7.7	69.2	▲46	13	0.0	15.4	84.6	▲85
⑦運輸業・その他のサービス業	▲58	▲50	▲8	11	9.1	63.6	27.3	▲18	11	9.1	54.5	36.4	▲27

■当期の主なコメント

現在の景況感	良い	<ul style="list-style-type: none"> ・ オミクロン株の流行次第では、回復途中だったレストラン、物販店舗が影響を受ける可能性大。【製造業】
	普通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海外のエサの原料（とうもろこし他）油など色々と値段が上がると思われる。【農業】 ・ 良くなると思うこともあるが、近々の原材料の高騰が影響する。値上げによる消費者心理で左右すると思う。【卸売・小売業】
	悪い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光業なので、コロナの影響が大きい。Go Toトラベルに期待していたが（2月）残念。早い収束を望む。持ちこたえられるか心配（従業員雇用など）【宿泊業】 ・ コロナの影響で不安定。空家が多く、倒産の危険性がある。道路状況が悪く歩きにくい。商店が無く高齢者が買い物できない。（現在タクシー利用もできない。）【運輸業・その他のサービス業】
6か月後の見通し	良くなる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 良くなると思うこともあるが、近々の原材料の高騰が影響する。値上げによる消費者心理で左右すると思う。【卸売・小売業】
	変わらない	<ul style="list-style-type: none"> ・ このまま鳥インフルエンザの発生（全国的に）が少なければ鶏業界への影響も少ないと思われるが、まだまだ消毒の徹底など（消毒薬を使用して）に費用がかかりそう。【農業】 ・ オミクロン株の流行次第では、回復途中だったレストラン、物販店舗が影響を受ける可能性大。【製造業】
	悪くなる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建設関係は県全体として右肩下がり。【製造業】 ・ 国、県、市の助けがあり今年も頑張れそうですが、本当の意味で今年が勝負の年になると思う。また感染者が増えてきたので、早い対応をお願いしたい。【飲食業】

唐津市短観（唐津市短期経済観測調査）とは？

各企業からの調査結果である「良い」「普通」「悪い」の3通りで回答したものを集計して、DI※で表したもの。DIは「良い」という回答の比率から「悪い」という回答の比率を引いて指数化するため、全調査企業が「良い」と回答すれば100、全ての企業が「悪い」と判断すれば▲100となり、ゼロが景気の拡大縮小の分かれ目の目安となる。

※DI（Diffusion Index）：企業や業界の景況感などを数値化した指標のことで、日本銀行の短観（全国企業短期経済観測調査）などで用いられている。